

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	稚児野台地国道9号改良関連事業				事業コード	210115	
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備	
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課			所属長	小西 晴之	
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	168		頁
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業	国道9号夜久野改良事業						

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国道9号夜久野改良事業を契機に、稚児野台地にある本市と養豚業者との共有地等において、本市が養豚業者と共有している建物及び市道の急傾斜法面を適正に管理し、倒壊リスクや崩壊リスクを回避するため一体的に用地を取得する。						
対象者	夜久野町住民	対象者数	3,068	単位あたりコスト	2.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	(株)エイト日本技術開発福知山営業所、荒川電気設備管理事務所						
事業概要 (箇条書き)	・国道9号用地及び市事業用地の所有者である養豚業者と用地交渉を行った。 ・本市と養豚業者との共有地に残されている共有建物の取得のため、取得補償費の算定業務を行った。 ・市所有地に設置されているキュービクル内の変圧器及びコンデンサーの絶縁油に、PCBが含まれている可能性があるため、含有量検査を行った。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	委託料	4,620	稚児野台地国道9号改良関連事業に係る物件再算定業務				
	役務費	172	稚児野台地絶縁油PCB含有検査				
	旅費	9	用地交渉、行政法律相談旅費ほか				
	使用料及び賃借料	8	ETC使用料				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,004	72,276	74,156	18,290
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	△ 67,181	67,181	0
	前年度繰越	0	0	67,181	0
	次年度繰越	0	△ 67,181	0	0
小計(①～③)	3,004	5,095	141,337	18,290	
予算財源内訳	① 一般財源	404	5,095	141,337	18,290
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	2,600	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 34	0		
	② 配当予算	2,970	5,095		
	③ 執行額	1,438	4,808		
	④ 執行率	48.4%	94.4%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.65 / 0.00	0.50 / 0.00	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	5,200	4,000	4,000	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,638	8,808	4,000	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事業用地取得面積	ha	0 / 2.6	0 / 2.6	0 / 2.6	/ 2.6	2.6
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地権者協議回数	回	5 / 15	2 / 15	3 / 8	/ 15	15
	単位あたりコスト		269.1	719.0	1602.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧夜久野町時代からの養豚団地の地域外への移転と地域振興につながる跡地活用についての強い地域要望に基づき、養豚業者の用地取得に伴う用地交渉を行った。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道9号夜久野トンネル開削事業との一体的な整備計画を策定することにより、国と市との役割分担を明確にしコスト削減を図った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する国道9号夜久野トンネル開削事業の進捗と地域振興にかかる有効な事業である。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市が養豚業者と共有している建物及び市道の急傾斜法面を適正に管理し、倒壊リスクや崩壊リスクを回避するため一体的に用地を取得するため、養豚業者と用地交渉を行っているが、買収金額の合意が得られず交渉が不成立となっている。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路河川課と連携して養豚業者との用地交渉を行う。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	稚児野台地にある本市と養豚業者の共有地等において、本市が養豚業者と共有している建物及び市道の急傾斜法面を適正に管理し、倒壊リスクや崩壊リスクを回避するために必要な用地等を取得する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)				事業コード	210165					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	藤澤 稔					
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	地域再生計画(道路整備)		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	地域再生法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	通常の林道機能に加え、観光道路としての位置づけも視野にいて事業を実施することにより、持続可能な生活を支えることと道路等の適切な維持管理を目指す。										
対象者	森林所有者(大江山線)				対象者数	6		単位あたりコスト	3,728.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	地域再生計画に基づき林道大江山線の法面改良工事を実施する。 林道大江山線法面改良工事 L=48m 土工N=1式、法面保護工(落石防止網)A=400.5㎡、支障木伐採工N=1式										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	工事請負費	20,049			林道大江山線法面改良に係る工事請負費						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,000	20,000	20,600	1,540					
	② 補正予算	20,000	0	0	0					
	③ 繰越予算	7,994	0	0	0					
		前年度繰越	7,994	0	0	0				
		次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	37,994	20,000	20,600	1,540						
予算財源内訳	① 一般財源	1,534	1,000	1,100	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	19,460	10,000	10,300	0					
	④ 地方債	17,000	9,000	9,200	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	78	50							
	② 配当予算	38,072	20,050							
	③ 執行額	38,071	20,049							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.67 / 0.00	0.29 / 0.00	0.29 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	5,360	2,320	2,320	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	43,431	22,369	2,320	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)(地方創生連立整備推進交付金)		種類	農林業費府補助金	実績金額	10,000	決算付属資料	28	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	丹州材の出荷量	m3	3430 / 9300	2125 / 10000	集計中 / 10000	/ 10000	10000
国定公園への来訪者数	人	123000 / 257000	114000 / 257000	73000 / 257000	/ 257000	257000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事業実施延長(大江山線)	m	27 / 48	42 / 51	48 / 45	/ 35	合計延長300m
	単位あたりコスト		1458.6	906.5	417.7		
	事業実施延長(額田大油子線)	m	79 / 79	41 / 40	- / -	/ -	合計延長620m
単位あたりコスト		498.5	928.6				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>◇観光道路及び災害時の迂回路として市管理林道を整備するものであり、市道とあわせてネットワークを構築するための重要な事業である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>◇適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、法面改良工事を実施した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>◇成果実績は毎年度把握している。                      ◇地域再生計画に基づき実施しているものであり、有効である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇市道とともにネットワークを構築する事業であり、この事業を実施することで森林整備につながる林道改良により間伐材の搬出量の増加や大江山への観光客の誘客に寄与している。                      ◇令和5年度以降、林道大谷線・林道新大谷線を実施検討中である。</p>		
改善策	<p>◇地域再生計画として認定されている事業計画について、予算を確保しながら継続的に実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	安心・安全の森づくり事業					事業コード	210199				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課				所属長	藤澤 稔				
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172・174	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	災害の発生により、溪流から流出する土砂を防止する補助を滅災、防災を目的に実施する。 また、被災した林道、作業道の復旧を行い、森林整備の早期再開を図る。 京都府施行の治山事業と併せて、治山施設の下流域の水路整備を行うことで、下流域の安全を確保する。										
対象者	林道作業道管理者 (対象者数は路線数)				対象者数	14		単位あたりコスト	1,288.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合										
事業概要 (箇条書き)	◇被災した林道・作業道の復旧を実施する。 ◇治山施設の流末水路の整備を実施する。 ◇林道・作業道維持管理業務 14路線 ◇私市地区治山流末整備工事 土工N=1式、木柵工L=49.5m、柵工N=1基、張コンクリート工A=19.6㎡、張芝工A=265.2㎡										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費、役務費	517	市所有のバックホウに係る修繕料及び検査費用等								
	委託料	6,718	林道・作業道の復旧に係る業務委託料								
	使用料及び賃借料	34	林道新田線敷地に係る土地使用料								
	工事請負費	2,838	治山施設の流末水路の整備に係る工事請負費								
	積立金	5,604	豊かな森を育てる基金積立金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	38,157	16,836	13,789	12,596			
	② 補正予算	△ 6,758	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	31,399	16,836	13,789	12,596				
予算財源内訳	① 一般財源	22,695	7,282	8,289	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	7,724	9,054	3,018	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	980	500	2,482	0			
決算情報	① 流充用額	3,071	△ 42					
	② 配当予算	34,470	16,794					
	③ 執行額	34,279	15,712					
	④ 執行率	99.4%	93.6%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32 / 0.00	0.29 / 0.00	0.29 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,560	2,320	2,320	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	36,839	18,032	2,320	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	安心・安全の森づくり事業(林道・作業道維持管理等)	種類	農林業費分担金	実績金額	430	8	頁
		安心・安全の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		農林業費府補助金		8,442	28	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		丹州材の出荷量	㎡	3430 / 9300	2125 / 10000	集計中 / 10000	/ 10000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助金交付件数	件	1 / 12	3 / 8	- / -	/ -	0
	単位あたりコスト		17248.3	11426.3			
	林道・作業道維持路線		15 / 28	17 / 22	14 / 11	/ 6	0
	単位あたりコスト		1149.9	2016.4	1122.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>木材搬出を推進するために、な林道・作業道の基盤を整備することは必要であり、令和3年度についても14路線の復旧を実施した。</p> <p>また、近年の豪雨等により多くの治山事業が必要で実施されており、その下流域の水路整備はニーズは高い中、治山事業と連携して事業実施した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>コスト削減の観点では、適正な歩掛により、単価を出したうえで、単価契約を締結した。</p> <p>治山事業に関連した水路整備であり、地元負担金を徴収せずに実施をしている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>成果実績は毎年確認できている。森林所有者の一部負担はあるものの、国庫補助とならない林道・作業道の復旧を市独自で行うことで、森林への関心を引きとめられる有効な事業であり令和3年度も事業実施した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇令和3年度は京都府施工の治山工事に合わせ、流末水路の整備を行うことで更なる災害防止を図っている。</p> <p>◇一部負担を取りながら林道・作業道の復旧を行い基盤整備を推進しているが、近年の豪雨により要望箇所が増加している。</p> <p>◇今後も京都府の治山事業の実施箇所の現場状況に応じ、流末水路整備等の事業実施が必要である。</p>		
改善策	<p>◇私有山林等の間伐促進及び、間伐材を搬出するためにも重要な事業であり、要望箇所も非常に多いため、委託方法を検討する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	国府事業(各団体・同盟会活動関係経費)				事業コード	110472					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行					
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国道9号、国道429号等の整備並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の確実な事業推進のための予算確保を目的として、国会議員及び国土交通省等に対して要望活動を実施する。また、各種全国大会に参加することにより各事業の予算確保と事業進捗を図り、事業の早期着手・完成を目指す。その結果、事業の確実な進捗が図られ、市民の安心・安全並びに利便性の向上が期待される。										
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	-										
事業概要 (箇条書き)	・国道9号整備促進期成同盟会は、年度当初に総会を開催し、国土交通省(東京)・近畿地方整備局(大阪)、地元選出国会議員への要望活動を行う。 ・京都府高速道路網整備促進協議会、京都府道路協会、砂防・治水・防災協会は、事務局(京都府)主導により、国土交通省や地元選出国会議員に要望活動を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	旅費	221	要望活動、国道9号用地交渉、治水等事業促進全国大会出席、等								
	使用料及び賃借料	13	高速道路通行料								
	負担金補助及び交付金	1,172	令和3年度国道9号(福知山市・京丹波町)整備促進期成同盟会会費、他								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,784	1,855	1,855	1,843
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	1,784	1,855	1,855	1,843	
予算財源内訳	① 一般財源	1,784	1,855	1,855	1,843
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	△ 435		
	② 配当予算	1,784	1,420		
	③ 執行額	1,333	1,406		
	④ 執行率	74.7%	99.0%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.92 / 0.00	3.15 / 0.00	3.15 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	23,360	25,200	25,200	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	24,693	26,606	25,200	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	福知山道路(5.8km)の進捗率	%	76 / 76	77 / 77	77 / 78	77 / 78	100
国道429号事業箇所数	箇所	2 / 2	3 / 3	3 / 3	2 / 2	3	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	同盟会総会、要望活動	回	32 / 33	31 / 45	18 / 25	/ 25	25
	単位あたりコスト		54.4	43.0	78.1		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改良、歩道整備等は自治会から多数の要望があり、市民の関心も高い。</li> <li>同盟会活動は、地元自治会、商工関係者も会員となり活動している。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会や協会の分担金は府・市町で公平に負担している。</li> <li>同盟会の会費・負担金も各市町や各組織で負担している。</li> <li>一度の出張で複数の要望を行うなど経費削減に努めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会議員や府・県議会議員とともに要望活動を実施しており、国道・府道等の整備は着実に進んでいる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	国道9号、国道429号をはじめとした道路整備、並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の推進を図るための予算確保について、国会議員及び国土交通省等に対して要望活動を実施してきた。その結果、毎年度、道路整備における予算確保が実現している。同様に、各種全国大会に参加することによる各事業の予算確保と事業進捗についても図られている。課題をあげるとすれば、コロナ禍による要望活動の実施スタイルが変容しており、柔軟な対応が求められているが、要望活動の実施方法等についても検討が必要になってくると考える。		
改善策	オンラインを活用した要望活動についても、他市町等の状況も踏まえて検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国・府の事業の予算確保及び事業の進行のため、必要な要望活動を継続する。また、オンラインを活用した要望活動については、他市町の状況をふまえて検討した結果、引き続き対面での要望活動を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	道路台帳整備事業				事業コード	120121					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行					
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	01 道路橋りょう総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	道路法第28条										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	道路台帳を正確に整備し、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新していく。道路行政の執行及び市民の経済活動その他に寄与する。										
対象者	全市民			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	地図作成・測量設計業者等										
事業概要 (箇条書き)	・道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。工事等により形状等変更があった箇所について、以下の通り台帳の補正更新。 ①台帳補正: 補正対象路線 新規認定路線、廃止路線、拡幅・区域変更・改良路線、路面種別変更路線 ②路線網データ作成: 世界測地系に変換されたデータを京都府1/2500を背景にし、データを作成 ・毎年1回定期的に補正しており、前年度認定・廃止・区域変更等告示した路線や改良した道路、帰属を受け認定した道路等を現地測量等実施して整備している。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	委託料	4,234		道路台帳更新業務							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,300	3,080	3,080	3,080				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,300	3,080	3,080	3,080					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	3,300	3,080	3,080	3,080				
決算情報	① 流充用額	253	1,154						
	② 配当予算	3,553	4,234						
	③ 執行額	3,553	4,234						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.53 / 0.00	0.53 / 0.00	0.53 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,240	4,240	4,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,793	8,474	4,240	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	4,226	決算付属資料	10	頁
		道路幅員証明手数料		土木手数料		4		14	
		コピー代		雑入		4		46	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	台帳更新業務	件	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補正路線数	路線	33 / 60	31 / 60	13 / 60	-	-
	単位あたりコスト		438.0	114.6	325.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路台帳の整備は道路管理者である市しか実施し得ず、また、道路法に基づく道路行政の執行及び市民の経済活動その他においても道路台帳の情報は必要であるため、必要不可欠な事業として実施している。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台帳の更新内容は精査しており、必要最低限なものである。</li> <li>一般への供覧は紙媒体の道路台帳に限っているが、電子データも所有しており、効率的な運用に努めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標通り欠かさず台帳更新を実施している(補正路線数についてはその年の道路新設/改良数に左右されるため必ずしも予定数に達するものではない)。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>道路工事などで道路の形状変更があるたびに台帳情報の修正が必要となるが、毎年1回は必ず補正をしており、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新している。</p> <p>補正する路線数についてはその年の事業内容等によるため年度によってばらつきがあるが、変更すべき箇所については漏れなく更新できている。</p> <p>業者への委託により台帳を更新するが、現場の状況に沿った正確な情報に更新するためには委託の際に精度の高い情報提供が必要であるため、煩雑な事務となり担当者への負担は大きい。</p>		
改善策	<p>委託業者と綿密に打ち合わせを行い、できるだけ簡易な方法で正確に台帳情報を更新できるよう努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	更新が必要な箇所について漏れなく更新し、適正に事業を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	道路維持管理事業				事業コード	120122						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184・186	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。											
対象者	全市民			対象者数	76,037		単位あたりコスト	1.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等											
事業概要 (箇条書き)	・道路パトロール及び地元からの通報などにより、道路施設の損傷を迅速に調査し必要に応じて緊急修繕を実施する。 ・地元要望による危険箇所等の改修を行う。 ・市街地や福知山駅周辺の街路樹剪定と落葉除去等を計画的に実施するとともに、市内の幹線道路の除草、側溝の堆積土砂の除去、照明灯の維持管理などを行ない道路の保全を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報償費	2,614	市道除草作業謝礼									
	需用費	16,485	道路補修用消耗品購入、公用車燃料費、道路舗装等修繕、公用車保険加入、等									
	役務費	18,861	倒木撤去、土砂撤去、等									
	委託料	53,495	除草せん定・伐採業務委託、災害復旧設計業務委託、トンネル点検業務委託、等									
工事請負費、他	11,862	災害応急工事、市道法面改修工事、防犯灯設置業務、等										

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	69,281	69,065	69,517	79,797				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	69,281	69,065	69,517	79,797					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	1,650	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	69,281	67,415	69,517	79,797				
決算情報	① 流充用額	7,262	34,252						
	② 配当予算	76,543	103,317						
	③ 執行額	76,543	103,317						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	3.66 / 2.00	3.52 / 0.00	3.52 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	34,280	28,160	28,160	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	110,823	131,477	28,160	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	103,278		10	頁
		放置自転車買取代		雑入		39	決算付属資料	48	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	委託件数(土砂撤去等)	箇所	54 / 100	42 / -	61 / -	/ -	-
	単位あたりコスト		1363.7	1822.5	1693.7		
	修繕件数	箇所	100 / 150	85 / -	65 / -	/ -	-
単位あたりコスト		736.4	900.5	1589.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、必要不可欠な事業として実施している。</li> <li>道路の損傷等は市民からの改善要望・苦情も多く、速やかに対応しなければ事故にも繋がることがあるため、市民生活の基盤を支えていく上での優先度は高い。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区ごとに道路パトロールを実施し、同一地区の修繕をまとめて行うなど効率的な事業実施に努めている。</li> <li>損傷等の具合によって職員の直営作業と業者への委託を使い分け、コスト削減に努めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こちらで把握している要修繕箇所その他、地域からの要望や通報も受けながら順次可能な限り対応している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。市道を適正に維持管理することにより市民の安心・安全な道路交通を確保することを事業の目的としており、損傷などがあった場合には修繕等の対応を可能な限り迅速に行わなければならない。道路パトロール、各自治会、市民からの要望、通報など、様々な方法で情報収集するよう努めており、情報を得たら地区等関係なくその時に動ける職員がすぐに対応することで迅速に対応出来ている。維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】</p> <p>街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、街路灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹、除草等、年々樹木も大きくなり経費がかかることから維持管理できる範囲が減ってきている。</p>		
改善策	<p>限られた財源を効率的、効果的に実施していけるよう配分を行なうとともに、緊急度・優先度を考慮しながら危険箇所を優先的に実施していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	必要性や効果を精査しながら、引き続き道路の適切な維持管理に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	除雪関連事業				事業コード	120123	
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備	
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行	
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	186		頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市地域防災計画、道路除雪計画、福知山市除雪機械等購入補助金交付要綱 R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市除雪計画に沿って主要生活道路の除雪作業を行なうことにより、市民の生活道路を確保し安心・安全な生活に寄与する。						
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	3.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	除雪受託業者						
事業概要 (箇条書き)	福知山市道路除雪計画に沿って、市内の除雪路線340路線、協議路線78路線、計418路線を市内38業者に委託して除雪を実施する。凍結防止対策として、2業者による凍結防止剤の機会散布と、職員による必要箇所への凍結防止剤の設置を行う。除雪計画で対応できない市道路線を除雪してもらうため、自治会等が除雪機械を購入する際の費用を助成する。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	9,404	凍結防止剤購入、除雪車両修繕、等				
	役員費	1,413	除雪車両車検、除雪車両保険加入、新車両購入に係る登録諸経費、等				
	委託料	171,119	市道除雪業務委託、倒木撤去業務委託、等				
	使用料及び賃借料	35,883	除雪車両賃借				
備品購入費、他	52,355	除雪車両購入、除雪車両車庫新築工事、除雪機械購入補助金、等					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	108,357	133,012	112,264	67,559				
	② 補正予算	91,000	156,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 12,462	12,462	0				
		前年度繰越	0	0	12,462	0			
		次年度繰越	0	△ 12,462	0	0			
小計(①～③)	199,357	276,550	124,726	67,559					
予算財源内訳	① 一般財源	91,000	155,938	62	10,845				
	② 国支出金	9,000	10,000	10,000	10,000				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	29,000	62,600	67,400	0				
	⑤ その他特財	70,357	48,012	47,264	46,714				
決算情報	① 流充用額	△ 1,139	△ 6,375						
	② 配当予算	198,218	270,175						
	③ 執行額	159,474	270,175						
	④ 執行率	80.5%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.65 / 0.00	0.66 / 0.00	0.66 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,200	5,280	5,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	164,674	275,455	5,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	臨時道路除雪事業補助	種類	土木費国庫補助金	実績金額	18,000	決算付属資料	20	頁
		除雪関連事業(社会資本整備総合交付金)		土木費国庫補助金		17,440		20	
		除雪関連事業(過疎対策)		土木債		52,000		52	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	除雪・協議路線	km	265.1 / 265.1	265.1 / 265.1	251.6 / 251.6	/ 251.6	251.6
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	業者出勤日数	日	11 / 30	17 / 30	34 / -	/ -	30
	単位あたりコスト		7651.8	9380.8	7946.3		
	出勤業者数	者	64 / 222	205 / 222	459 / -	/ -	222
単位あたりコスト		1315.2	777.9	588.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、必要不可欠な冬季の維持管理事業として実施している。</li> <li>除雪に対する市民からの要望・苦情は多く、速やかに対応しなければ交通機能が麻痺するため、市民生活の基盤を支えていく上での優先度は高い。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪計画に沿って積雪状況等により必要性・緊急度等を考慮し実施している。</li> <li>細かくエリアを区切ってそれぞれ地元業者に業務を委託する等、効率的な事業実施に努めている。</li> <li>費用については期間終了後に精査し、削減すべきところがないか検討している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積雪や低温は的確に予想するのが困難であり、活動目標や投入資源を推定するのも困難であるが、実施が必要な際には漏れなく実施しており実績も各業者からの報告により把握している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、積雪による市民生活への影響を抑え市民生活の維持を図っている。</p> <p>迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。</p> <p>積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は今後も必要不可欠である。</p> <p>年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。</p> <p>維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】</p>		
改善策	<p>現在業務を委託している業者に引き続き受託してもらえるよう、除雪期間外に舗装路面の平滑化(突起物をなくすこと)や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行い、除雪実施業者の負担軽減に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	道路パトロール車更新事業				事業コード	120187						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-			R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	道路維持管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	道路パトロール車を新車両に更新し、作業員の安全確保及び作業効率の向上を図り、適切に道路の維持管理(以上の早期発見・早期改修)を行う。											
対象者	全市民			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・道路パトロールに使用する車両を購入する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	役員費	40	新車両購入に係る登録諸経費									
	備品購入費	5,665	道路パトロール車購入									
	公課費	6	新車両購入に係る登録諸経費									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	6,056	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	0	6,056	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	6,056	0	0
決算情報	① 流充用額	0	△ 345		
	② 配当予算	0	5,711		
	③ 執行額	0	5,711		
	④ 執行率	0.0%	100.0%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	640	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,351	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	更新台数	台	- / -	- / -	1 / 1	/ -	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	更新台数	台	- / -	- / -	1 / 1	/ -	1
	単位あたりコスト		/	/	5711.0	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、維持管理のための道路パトロールは必要不可欠な事業であり、パトロールのために必要な車両を適切に更新することも同じく必要不可欠である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路パトロール車の選定においては必要となる機能のみを搭載しているものを選んでおり、また、購入についても入札を実施したため可能な限りコスト削減できていると考える。</li> <li>道路パトロール車を購入し、常時道路パトロールを行うことで、道路状態の悪化を早期発見し、放置していれば後々大きな改修が必要となるものを未然に低コストで処理できるようになる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定していた通りに車両を更新した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年3月に新車両が納車され、更新を完了した。 車両の機能面もこれまでの車両において不便だった部分を改めており、今後はこれまでより効率的に道路パトロール業務を行えると考える。		
改善策	特になし。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和4年3月に新車両が納車され、更新を完了した。 事業目的を果たしたため、事業終了。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	道路橋りょう一般管理事業				事業コード	120203						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	道路・橋りょうを適切に維持管理し安全性を高めることで、安全・安心のまちづくりの推進を図る。											
対象者	全市民				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・おもに道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費。 ・その他、道路・橋りょうについての研修会等に参加する予算を確保し、職員の技術力アップを図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	旅費	24	京都府庁協議、訴訟協議、近畿市町村災害復旧相互支援機構会員総会、等									
	需用費	8,333	街路灯等電気料									
	使用料及び賃借料	15	高速道路通行料									
	負担金補助及び交付金	80	研修等参加負担金									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,709	7,509	22,194	21,348				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	14,709	7,509	22,194	21,348					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	14,709	7,509	22,194	21,348				
決算情報	① 流充用額	△ 778	943						
	② 配当予算	13,931	8,452						
	③ 執行額	13,931	8,452						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07 / 0.00	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	560	720	720	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,491	9,172	720	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	8,452	決算付属資料	10	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	執行額	千円	- / -	- / -	8452 / -	- / -	- / -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	講習会等参加	回	2 / 2	0 / 2	0 / 2	2 / 2	-
	単位あたりコスト		7907.9				
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、道路管理者として道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために必要不可欠な維持管理事業として街路灯の維持管理を実施している。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯にかかる電気代は年々微増傾向にあったが、光熱水費の削減を図るため、電気代のコスト削減が図れ、かつ耐用年数の高いLED灯への更新を実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯の更新前後で電気料金は50%以上削減できており、かつ従来の灯具よりも長寿命であるため維持管理経費も削減できると見込まれ、有効性は高いと考える。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>道路・橋りょうの利用者のために街路灯を設置しているものであり、利用者の安全確保のために必要不可欠な事業である。市域にはかなり多くの街路灯があり、維持管理にかかる費用は年々増加傾向にあったことから、コスト削減を図るためにLEDへの更新を実施した。これにより今後は電気料金の削減が見込める。</p> <p>例年参加している道路・橋りょう維持管理に関する講習会等への参加については、新型コロナウイルス感染症の影響により講習会の開催がなくなり参加していない。</p> <p>維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】</p>		
改善策	<p>今後も適正に維持管理し、管理不足による不要な修繕等が発生しないよう努める。</p> <p>講習会については開催されるようになれば適宜参加し、職員の知識の研鑽に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>経常経費的的事业であり、必要不可欠である。</p> <p>適正な事務執行に努めながら、継続して実施する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	交通安全対策整備事業				事業コード	120208					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市通学路交通安全プログラム		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市道の道路管理者として適切な交通安全対策を実施し、予測できる危険の軽減をはかり、通行する人や車両の安全を確保する。市内の学校の通学路についても対策を実施していくことで通学中の児童・生徒などの安全性を高めるとともに、保護者や地域住民の不安を軽減する。高齢者や障がいのある人、子どもなど誰にでも安全でやさしい交通施設の整備を促進する。										
対象者	全市民				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等										
事業概要 (箇条書き)	市道や通学路における危険箇所について、交通安全対策(道路反射鏡・防護柵・区画線・交差点改良など)を行う。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	工事請負費	30,428	市道区画線更新工事、道路改良工事、カーブミラー設置工事、点字ブロック改修工事、等								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	31,800	31,100	38,400	40,300					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0				
		次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①～③)	31,800	31,100	38,400	40,300					
予算財源内訳	① 一般財源	30,000	29,000	38,400	40,300					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	1,800	2,100	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	31,800	31,100							
	③ 執行額	31,572	30,428							
	④ 執行率	99.3%	97.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.41 / 0.00	0.54 / 0.00	0.54 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	3,280	4,320	4,320	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	34,852	34,748	4,320	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	交通安全対策整備事業(地域活性化)		種類	土木債	実績金額	500	決算付属資料	52	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	改良箇所数	箇所	50 / 40	31 / 50	48 / 50	/ 50	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	道路改良工事件数	工事	4 / 6	4 / 10	4 / 5	/ 4	-
	単位あたりコスト		6105.9	7893.0	7607.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道管理者として、市道の危険箇所等の交通安全対策を実施し、事故防止、交通の円滑化を図る必要がある。</li> <li>通学路についても、通学中の児童・生徒等の安全性を高めることは必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元、学校、PTAなどから交通安全対策に関する要望が数多くあるなかで、緊急度、優先度を見極めながら実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に交通環境の改善を行うことで、交通事故防止、交通の円滑化が図れる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>めまぐるしく変化する道路交通状況のなか、交通安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危険の軽減を図り、通行する人や車両の安全の確保に努めている。とくに通学路については福知山市通学路安全推進会議で策定された福知山市交通安全プログラムに基づき、道路管理者として市道における通学路の危険箇所の安全対策を進めている。地元、学校、PTAなどからの交通安全対策に関する要望は多く、全てには応えられていない。本事業の交通安全対策にかかる分については交通安全対策交付金見合いで実施しているため、事業費確保に影響がある。</p>		
改善策	<p>数多くある要望に対し、特に通学路等については市交通安全プログラムに基づき教育委員会等の関連部署と連携を取りながら、緊急度・優先度などを見極めて実施箇所を検討していく。財源に限りがあるため、通学路緊急対策の個別補助対象となる路線があれば、そちらの補助を活用しての実施も検討していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>判断基準を明確にし、優先順位を見極めながら施工にあたる。</li> <li>対策箇所毎に最大限の効果が出るような対策方法を検討していく。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	緊急安全対策整備事業				事業コード	120210					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市道の安全対策を実施することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。										
対象者	全市民				対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等										
事業概要 (箇条書き)	・自治会要望による危険箇所等の改修を行い、市道の安全対策を実施する。 ・中央分離帯をコンクリート化することによりスムーズな通行を行えるようにする。 ・街路樹撤去後の歩道整備を実施し安全に通行できるようにする。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	工事請負費	46,994			As舗装道路修繕工事、市道緊急安全対策工事、ガードレール設置工事、等						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	47,000	50,000	0				
	② 補正予算	50,000	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
		前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	50,000	47,000	50,000	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	47,000	50,000	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	50,000	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	1,432	0						
	② 配当予算	51,432	47,000						
	③ 執行額	51,329	46,994						
	④ 執行率	99.8%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12 / 0.00	0.75 / 0.00	0.75 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	6,000	6,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	52,289	52,994	6,000	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	自治会要望対応工事	件	/	155 / 150	106 / 150	/ 150	-
		単位あたりコスト		331.2	443.3		
		単位あたりコスト		/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点到寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元のニーズに応える事業であり、市民の安心・安全の確保のため必要なものである。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要望箇所は多いが、危険度などから優先順位を判断し、効率的に進めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要望に応じて目標を設定しており、見込み通りに実施できている。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	工事実施数＝地元要望に応えた数であり、見込み通りに実施できている。 危険箇所等を改修することで市民の安心・安全の確保につながっているが、要望箇所数は多く、全ての要望には応えられていない。		
改善策	一度に全ての要望に応えることは困難なため、一定の予算を確保しながら継続的に事業を実施していく。 要望箇所をしっかりと把握した上で、効率的な事業実施に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業完了につき廃止。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	辺地対策事業				事業コード	120307		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備		
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921	
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代		
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計 決算付属資料 188 頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	辺地計画		R4現在の状況 継続中
根拠法令等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
関連事業								

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、ほかの地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島その他のへんびな地域である辺地地域における交通基盤を確保するとともに、地域の活性化を図る。							
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等							
事業概要 (箇条書き)	辺地計画に基づいて市道の新設改良を行ない、良好な生活道路を確保する。							
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容					
	工事請負費	4,629	報恩寺印内線道路舗装改良工事					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,000	5,000	20,000	15,000			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	5,000	5,000	20,000	15,000				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	5,000	5,000	20,000	15,000			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	△ 190	0					
	② 配当予算	4,810	5,000					
	③ 執行額	4,645	4,629					
	④ 執行率	96.6%	92.6%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.28 / 0.00	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,240	1,040	1,040	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,885	5,669	1,040	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	辺地対策事業(辺地対策)		実績金額	4,600	決算付属資料	52	頁
	種類	土木債						

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事実施路線	路線	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 2	-
	単位あたりコスト		4724.5	4645.0	4629.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辺地地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するため、必要な事業である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有利な財源である辺地対策債を活用し、辺地計画に基づいて事業実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辺地地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性の向上が図れる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>本市における辺地地域において、辺地対策事業の対象自治会からの要望に対し、辺地計画に基づき辺地対策債という有利な財源を活用しながら計画的に市道の道路舗装改良を実施しており、快適な生活環境の確保や辺地地域の活力の創造に資することができている。</p>		
改善策	<p>今後も有利な財源である辺地対策債を活用して計画的に事業実施していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	防衛施設周辺整備事業				事業コード	120312		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備		
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921	
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代		
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計 決算付属資料 188 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況 継続中
根拠法令等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
関連事業								

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	防衛施設周辺の道路整備を行うことにより、安全な車輛経路の確保及び周辺住民の民生安定化を図る。							
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等							
事業概要 (箇条書き)	防衛施設周辺道路にあたる市道室3号線ほか2線は、幅員が狭小で車両の離合が困難なことや車両通行による歩行者の危険性が高いこと等、住民生活に支障をきたしている。地元自治会は、高齢化が進行し、公共交通機関として唯一バスが当該路線を運行している集落であることなどから、早期に拡幅整備をし、周辺住民の生活の安心・安全化を図る。							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容					
	旅費	3	出張(近畿中部防衛局)					
	需用費	27	事務用消耗品購入					
	使用料及び賃借料	182	複合機使用料					
	工事請負費	17,360	羽合室線ほか1線道路改良工事					
補償、補填及び賠償金	4,265	羽合室線ほか1線道路改良工事に伴う電気設備移転補償、羽合室線ほか1線道路改良工事に伴う通信設備移転補償						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	28,286	21,837	46,503	39,102				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	28,286	21,837	46,503	39,102					
予算財源内訳	① 一般財源	7,549	5,734	12,994	11,372				
	② 国支出金	20,737	16,103	33,509	27,730				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	300						
	② 配当予算	28,286	22,137						
	③ 執行額	26,998	21,837						
	④ 執行率	95.4%	98.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.48 / 0.00	0.38 / 0.00	0.38 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,840	3,040	3,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,838	24,877	3,040	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	防衛施設周辺整備事業(道路改修等事業費補助金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	16,103	決算付属資料	20	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		適切な道路改良の実施	線	3 / 3	1 / 3	1 / 1	/ 2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事実施路線	線	3 / 3	1 / 3	1 / 1	/ 2	3
	単位あたりコスト		8309.9	26998.0	21837.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当路線は、周辺住民にとって主要な生活道路であるが、部分的に現道の幅員は狭小であり、緊急車両との離合は危険な状態であるため、道路整備が必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の生活の安全確保のために必要な整備について、補助率(70%)が良い防衛補助金を活用することでコストを抑えながら効率的に実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施することにより、バス及び緊急車両と一般車両の安全な離合が可能となり、利便性と安全性が向上し、駐屯地周辺の民生安定が図れる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	有利な財源である防衛省の補助金を活用し、必要な整備を効率よく実施できている。防衛施設周辺整備事業については、市道室3号線をもって一旦終了することとなる。		
改善策	令和5年度をもって事業を終了する予定であるが、今後も防衛省とともに活用できる路線を模索していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	補助金の確保を図りつつ、継続して適正に実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	道路改良事業				事業コード	120313			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921		
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代			
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計 決算付属資料	188 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中
根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
関連事業									

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地元からの市道改良要望路線等について、拡幅改良及び道路新設等を行う。 地元の要望に応えるだけでなく、車両の通行確保や市民生活の利便性向上、沿道住民及び市民生活の安心・安全性の向上を図る。								
対象者	全市民			対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.8		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	測量設計業者・土地家屋調査士協会等								
事業概要 (箇条書き)	地元からの市道改良要望路線等について、必要度・緊急度、経済効果等を考慮し拡幅改良及び道路新設等を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容						
	委託料	8,925	公共嘱託登記業務(福知山停車場奥榎原線)、荒河堤防線測量設計業務						
	工事請負費	42,754	福知山停車場奥榎原線舗装改良工事、土師新町4号線側溝改良工事						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	13,000	69,000	65,000	79,516			
	② 補正予算	53,000	0	0	0			
	③ 繰越予算	△ 24,929	△ 11,071	36,000	0			
	前年度繰越	0	24,929	36,000	0			
	次年度繰越	△ 24,929	△ 36,000	0	0			
小計(①~③)	41,071	57,929	101,000	79,516				
予算財源内訳	① 一般財源	16,031	14,909	19,340	23,276			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	24,900	42,900	81,300	56,000			
	⑤ その他特財	140	120	360	240			
決算情報	① 流充用額	△ 2,222	0					
	② 配当予算	38,849	57,929					
	③ 執行額	38,847	51,679					
	④ 執行率	100.0%	89.2%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.33 / 0.00	0.89 / 0.00	0.89 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,640	7,120	7,120	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	41,487	58,799	7,120	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路改良事業(長寿命化)	種類	土木債	実績金額	17,500	52	頁
		道路改良事業(緊急自然災害防止対策)(繰越明許費分)		土木債		18,900	52	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		適切な道路改良の実施	路線	5 / 5	9 / 4	5 / 6	/ 6	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	工事実施路線	路線	5 / 5	9 / 4	5 / 6	/ 6	-	
		単位あたりコスト		6436.2	4316.3	10335.8		
				/	/	/	/	
	単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点到寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のニーズに応じた事業である。</li> <li>道路の拡幅改良等により、緊急自動車の通行や沿道住民及び市民生活及び安全性の向上を確保するものである。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元要望路線について必要性、緊急性、経済効果などを考慮し適正な事業実施を行なっている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のニーズに応えるとともに、改良による市民生活及び安全性の向上の観点から、有効性は増加している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地元の要望に応えながら、市民生活の利便性や安全性の向上を図れている。道路改良に対する地元からの要望は多いため、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定し実施しているが、全ての要望に応えられていないのが現状である。		
改善策	施工路線については精査し、優先度をつけて計画的に実施していく。また、社会資本整備総合交付金など、交付金が活用できるものは活用を検討する必要があるが、令和5年度については、新たな活用路線はなかった。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	過疎対策事業				事業コード	120315		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備		
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921	
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代		
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計 決算付属資料 188 頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	過疎計画		R4現在の状況 継続中
根拠法令等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
関連事業								

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	過疎地域における交通基盤を確保し、過疎地域の活性化を図る。 安心安全な道路交通を確保することにより、過疎地域における市民生活の向上を図る。							
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事等施工業者等							
事業概要 (箇条書き)	過疎計画に基づき市道の改良を行ない、安心安全で良好な交通基盤を確保する。							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容					
	役務費	1	土地売買契約書収入印紙代					
	委託料	5,107	本谷線用地測量業務、					
	工事請負費	48,555	河西金山線道路改良工事、山田線道路舗装改良工事、西角峠線道路新設改良工事					
	公有財産購入費	367	稚児野線に係る土地売買契約					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	55,300	102,084	79,407	40,000			
	② 補正予算	0	△ 18,600	0	0			
	③ 繰越予算	△ 780	△ 25,204	33,204	0			
	前年度繰越	7,220	8,000	33,204	0			
	次年度繰越	△ 8,000	△ 33,204	0	0			
小計(①～③)	54,520	58,280	112,611	40,000				
予算財源内訳	① 一般財源	20	80	11	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	54,500	58,200	112,600	40,000			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	△ 3,166	0					
	② 配当予算	51,354	58,280					
	③ 執行額	51,040	54,030					
	④ 執行率	99.4%	92.7%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.48 / 0.00	0.43 / 0.00	0.43 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,840	3,440	3,440	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	54,880	57,470	3,440	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎対策事業(過疎対策)	種類	土木債	実績金額	50,200	52	頁
		過疎対策事業(過疎対策)(繰越明許費分)		土木債		3,700	52	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		適切な道路改良の実施	線	1 / 2	4 / 4	5 / 5	/ 4
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事実施路線	線	1 / 2	4 / 4	5 / 5	/ 4	13
	単位あたりコスト		23094.4	12760.0	10806.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するために必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎計画に基づき、有利な財源である過疎対策債を活用しながら事業実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性が図られる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>本市における過疎地域において、対象自治会からの要望に対して、過疎計画に基づき過疎対策債という有利な財源を活用し、計画的に市道の道路舗装改良等を実施しており、快適な生活環境の確保や過疎地域の活力の創造に資することができている。現計画は令和3年度から始まっているが、自治会からの要望全てに応えられているわけではない。</p>		
改善策	<p>今後も有利な財源を活用しながら効果的に事業実施していく。            以前の過疎計画から継続となっている路線等については、重点的に整備する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	橋りょう長寿命化対策事業				事業コード	120324						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	04 橋りょう維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	道路法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	橋りょうの定期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、予防的な修繕及び計画的な架け替えを行う。											
対象者	全市民(橋りょう利用者)			対象者数	76,037		単位あたりコスト	2.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事等施工業者等											
事業概要 (箇条書き)	橋りょうを良好な状態で維持するため、現況調査及び長期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、今後老朽化する道路橋の増大に対し予防的な修繕を進める。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	377	居母山一号橋りょう修繕ほか									
	委託料	75,885	橋りょう点検業務、橋りょう修繕設計業務(現年41,195、繰越34,690)									
	工事請負費	66,314	家ノ下橋りょう修繕工事ほか(現年21,752、繰越44,562)									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,500	117,000	212,890	322,300				
	② 補正予算	107,000	60,400	0	0				
	③ 繰越予算	△ 52,080	△ 34,495	114,075	0				
	前年度繰越	27,500	79,580	114,075	0				
	次年度繰越	△ 79,580	△ 114,075	0	0				
小計(①~③)	63,420	142,905	326,965	322,300					
予算財源内訳	① 一般財源	15,932	2,902	2,639	0				
	② 国支出金	34,188	77,427	176,877	176,385				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	13,300	36,300	100,300	109,500				
	⑤ その他特財	0	26,276	47,149	36,415				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	63,420	142,905						
	③ 執行額	63,100	142,576						
	④ 執行率	99.5%	99.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.66 / 0.00	1.88 / 0.00	1.88 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,280	15,040	15,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	68,380	157,616	15,040	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	橋りょう長寿命化対策事業(道路メンテナンス事業補助)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	35,633	決算付属資料	20	頁
		橋りょう長寿命化対策事業(社会資本整備総合交付金)(繰越明許費分)		土木費国庫補助金		42,719		20	
	橋りょう長寿命化対策事業(企業版ふるさと納税寄附金)		土木費指定寄附金	1,500	36				

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	費用対効果の高い橋りょう点検実施数	橋	269 / 1081	220 / 1081	230 / 256	/ 259	1081
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	橋りょう点検実施数	橋	269 / 1081	220 / 1081	230 / 256	/ 259	1081
	単位あたりコスト		129.1	286.8	619.9		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋りょう施設を長く良好な状態で維持していくことは、市民、利用者の安心安全な通行に必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の補助金である道路メンテナンス補助金を活用し、工法選定や見積徴収等コスト削減を意識し、橋梁長寿命化計画に基づき事業実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理費の削減を図ることができる。</li> <li>道路橋の安全性、信頼性を確保することができる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>平成26年7月より、5年に1度の近接目視点検を行ない、現在2巡目の点検を実施しており、点検結果により長寿命化計画を策定して維持管理を実施している。 健全度を4段階で評価しており、市内の橋りょうについては現在の状況を踏まえた上での維持管理を行えている。 評価が悪かった(Ⅲ判定)橋りょうについて、順次補修工事を実施している。 5年に1度の点検が必要であり、限られた期間で、1,000橋を超える数の橋梁の点検を完了していかなければならないため、計画的に進めていく必要がある。</p>		
改善策	<p>執行にかかる予算、財源についても実施内容を精査した上で確保していく。 職員による点検を実施するための技能取得や、集約できる橋りょうの整理も必要である。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	広域交通網整備促進事業				事業コード	120333		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備		
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921	
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代		
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計 決算付属資料 188 頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中		
根拠法令等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
関連事業								

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国道9号及び駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行ない、市街地の交通体系の充実を図る。							
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会							
事業概要 (箇条書き)	福知山停車場奥榎原線は、トラック等の走行が多い路線である。本路線を整備することで、地域間交通や連携を強化するとともに、安全で円滑な交通の確保を図る。							
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容					
	委託料	227	公共嘱託登記業務					
	工事請負費	799	As舗装道路修繕					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,600	4,700	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	△ 3,373	3,373	0
	前年度繰越	0	0	3,373	0
	次年度繰越	0	△ 3,373	0	0
小計(①～③)	2,600	1,327	3,373	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,600	1,327	3,373	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 1,741	△ 300		
	② 配当予算	859	1,027		
	③ 執行額	745	1,026		
	④ 執行率	86.7%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,280	1,840	1,840	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,025	2,866	1,840	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	1 / 2	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事実施路線	路線	1 / 2	1 / 1	1 / 1	/ 0	2
	単位あたりコスト		8362.2	745.0	1026.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅南地域や国道429号及び国道9号沿線周辺における交通混雑を解消するため道路網の整備は必要。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併特例期間において、充当率の高い合併特例債を活用して計画通りに効率よく事業実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域交通網として、道路網を整備することは市民生活の利便性の向上が図れる。</li> <li>アクセス性の向上が図れることから、有効性は高い。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本事業により、国道9号及び駅南地域など市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑の解消、市街地周辺とのアクセス性の向上を図るとともに、住民交流や観光施設への利用の活性化、さらには、緊急避難路として位置付けることで安全で円滑な交通体系の充実化も図っている。すでに完成した路線もあり、その事業効果については今後検証していく必要がある。公図と現況が合致していないところもあり用地買収などに時間を要している。		
改善策	用地買収が整ったところから工事を進めるなど、全体工程を圧縮する方向で事業を進めていく。これまでに完了した路線に続き、福知山停車場奥榎原線についても早期の全線開通を目指して事業を継続していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	既決予算で効率的な事業実施に努める。 R3線4予算で事業完了予定であるため、新たに予算は要求しない。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)				事業コード	120336					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	社会資本総合整備計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	府が設定する社会資本整備計画である「丹後・中丹地域の観光と産業の振興を支援する交通基盤施設の整備と安心安全なまちづくり」に関連した整備により、道路新設改良を行なう。										
対象者	全市民				対象者数	76,037		単位あたりコスト	3.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事等施工業者等										
事業概要 (箇条書き)	道路改良等を実施することで交通基盤の整備を図り、観光及び産業の振興を支援する。道路改築、舗装修繕、歩道整備などの工事を実施する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	3,141	小谷ヶ丘堀山線道路詳細設計修正業務、公共嘱託登記業務(篠尾大門線)								
	使用料及び賃借料	1,733	川北荒木線(川北橋)左岸仮橋覆工板賃借契約、川北荒木線(川北橋)右岸仮橋覆工板賃借契約								
	工事請負費	262,242	川北荒木線(川北橋)左岸仮橋撤去工事、堺線道路新設改良工事								
	補償、補填及び賠償金	4,129	市道川北荒木線(川北橋)改良工事に係る土地の使用に関する補償契約、川北荒木線(川北橋)延伸工事に伴う電気設備移転工事								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	330,000	189,368	107,018	96,000				
	② 補正予算	19,281	26,464	0	0				
	③ 繰越予算	95,100	63,902	136,015	0				
	前年度繰越	295,017	199,917	136,015	0				
	次年度繰越	△ 199,917	△ 136,015	0	0				
小計(①～③)	444,381	279,734	243,033	96,000					
予算財源内訳	① 一般財源	16,911	22,838	39,262	4,320				
	② 国支出金	242,170	145,196	115,871	52,800				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	185,300	111,700	87,900	38,880				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	94	△ 6,697						
	② 配当予算	444,475	273,037						
	③ 執行額	443,203	271,245						
	④ 執行率	99.7%	99.3%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.83 / 0.00	1.45 / 0.00	1.45 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	14,640	11,600	11,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	457,843	282,845	11,600	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金事業(社会資本整備総合交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	38,241	決算付属資料	20	頁
		社会資本整備総合交付金事業(道路整備)(繰越明許費分)		土木費国庫補助金		109,954		20	
		社会資本整備総合交付金事業(道路整備) (防災・減災・国土強靱化緊急対策)(繰越明許費分)		土木債		26,700		52	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	4 / 6	1 / 3	4 / 4	/ 4	6
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事実施路線	路線	4 / 6	1 / 3	4 / 4	/ 4	6
	単位あたりコスト		133278.7	443203.0	67811.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全なまちづくりに関連した道路整備を行うことで、利用者、沿線住民の安全確保、利便性の向上を図る。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金である社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に事業実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路を整備することにより、市民生活の安全性の向上を図るとともに、生活環境の整備が行なわれる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であり、事業実施することで利用者、沿線住民の安全を確保するとともに、利便性の向上、観光及び産業の振興を図っている。 幹線道路などにおいては計画的に新設改良を実施している。 国の交付金を活用して事業を実施するが、国からの交付金については、全国的に要望が多いことから本市の要望どおりに予算確保ができないことが課題である。		
改善策	事業計画を適宜更新しながら実施中事業の進捗管理も適切に行い、交付金を最大限に活用する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)					事業コード	120353				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画(地域再生計画)』			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図る。										
対象者	全市民				対象者数	76,037		単位あたりコスト	1.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、土木工事等施工業者等										
事業概要 (箇条書き)	地域版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、地域再生計画に位置付けて、自主的・主体的で先導的な事業を実施する。地方創生推進交付金により、市道及び林道の道路改良・舗装改良を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	委託料	22,252			公共嘱託登記業務、笹場小野線用地測量業務						
	工事請負費	73,376			岡ノ木線道路改良工事、広小路勅使線道路舗装改良工事						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	7,000		137,900		45,000		65,000			
	② 補正予算	39,000		0		0		0			
	③ 繰越予算	△ 7,304		△ 41,846		67,224		0			
	前年度繰越	18,074		25,378		67,224		0			
	次年度繰越	△ 25,378		△ 67,224		0		0			
小計(①～③)	38,696		96,054		112,224		65,000				
予算財源内訳	① 一般財源	2,393		5,135		5,954		3,300			
	② 国支出金	18,803		47,919		55,970		32,500			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	17,500		43,000		50,300		29,200			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	500		0							
	② 配当予算	39,196		96,054							
	③ 執行額	39,006		95,628							
	④ 執行率	99.5%		99.6%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.77 / 0.00		0.78 / 0.00		0.78 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	6,160		6,240		6,240		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	45,166		101,868		6,240		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備) (地方創生道整備交付金)		種類	土木費国庫補助金	35,334		実績金額	20		
		地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備) (地方創生道整備交付金)(繰越明許費分)			土木費国庫補助金	12,438			決算付属資料	20	
		地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備) (公共事業等)(繰越明許費分)			土木債	11,200				52	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	2 / 8	0 / 8	1 / 4	/ 3	8
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事実施路線	路線	4 / 4	3 / 1	4 / 4	/ 3	8
	単位あたりコスト		37874.6	13002.0	23907.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方再生、定住化を進めていくためには、道路などの社会インフラが整っていることが基本であり、道路整備は必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本来ならば市単費で行わざるを得ない市道の道路改良について、国庫支出金を活用することで大幅にコストを削減した上で実施することが出来る。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域再生計画に市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け整備を行なうことは有効である。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』を策定した。この地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け、計画的に事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与できる。		
改善策	地域再生計画では、少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としているが、事業計画に基づき市道を整備することで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果を見えるようにしていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の確保を図りながら、年次計画に基づき工事を適正に実施していく。</li> <li>継続事業について補助事業などを活用しながら引き続き実施し、今後の計画について優先順位を考えながら期間延長を検討していく。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	土木一般管理事業				事業コード	510117						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182・184	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	建設交通部の事務執行が滞りなく進められるよう、部で使用するシステムや電子機器等の維持管理、消耗品などの管理・調達を行う。建設交通部及び道路河川課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的に適正な道路行政を実施する。											
対象者	-			対象者数	-			単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	事務用品・機器類取扱業者等											
事業概要 (箇条書き)	・デジタル複合機、土木積算システム、CADシステムなどの維持管理や部、課で使用する消耗品などの管理、調達を行う。 ・建設交通部及び道路河川課共通の事務執行経費であり、経常経費的的事业である。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	旅費	3		口頭弁論出席、工場検査								
	需用費	4,123		事務用消耗品購入、公用車燃料費、公用車修繕、等								
	役務費	1,366		道路賠償責任保険加入、電話料、郵送料、等								
	委託料	3,459		複合機等賃借、損害賠償請求に係る弁護士報酬、川北橋開通式会場設営業務、土木積算システム保守、等								
使用料及び賃借料、他	3,933		複合機使用料、プリンタ購入、損害賠償金、近畿市町村災害復旧相互支援機構出捐金、等									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	10,664	11,902	11,953	18,358			
	② 補正予算	1,132	500	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	11,796	12,402	11,953	18,358				
予算財源内訳	① 一般財源	208	500	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	11,588	11,902	11,953	18,358			
決算情報	① 流充用額	888	482					
	② 配当予算	12,684	12,884					
	③ 執行額	11,593	12,884					
	④ 執行率	91.4%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.16 / 0.00	2.21 / 0.00	2.21 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	17,280	17,680	17,680	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	28,873	30,564	17,680	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	12,795	10	頁
		土木積算単価データ利用料下水道課負担分	雑入		89	決算付属資料	46	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	執行額			- / -	- / -	12884 / -	/ -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	トナー購入数(カラー・モノクロ)	本	75 / 75	60 / 50	90 / -	/ -	-
	単位あたりコスト		140.9	193.2	143.2		
	PPC用紙購入数(A4)	箱	460 / 460	476 / 460	415 / -	/ -	-
単位あたりコスト		23.0	24.4	31.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常経費的事业であり、必要不可欠である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設交通部で共通する経費について、一元的に管理することで、部内で事務が重複することなく効率的に執行できる。</li> <li>大型の複写機等、機器の契約更新時にはコスト比較を行い、経費削減に努めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の使用状況や消耗品の発注数は管理・把握しており、無駄なく、かつ事務に支障が出ないよう努めている。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	内部庶務事業であり、コスト縮減や効率化が図れる部分については、随時見直しに努めている。とくに複写機の賃貸借契約については、契約更新時に導入について十分に検討を行なったことから、削減効果がでている。 管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】 引き続き、適正な事務執行に努める。		
改善策	定期的に事務の見直しを行い、事務効率化およびコスト削減について継続的に検討を続け、よりよい道路行政の実施に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	経常経費的事业であり、必要不可欠である。 適正な事務執行に努めながら、継続して実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業				事業コード	110154					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人					
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	石原土地区画整理事業、										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てを行い、鉄道網整備事業及び鉄道網整備に関連する都市計画事業の促進を図る原資とすることを目的とする。また、基金に積み立てて生じる運用利子を得ることで、原資を効率的に増やし、その事業を充実させる。										
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	商業施設の誘致による事業用定期借地料や普通財産土地売却収入及び法定外公共用財産売却収入などの不動産収入を鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てる。事業用定期借地料を積み立てた。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	積立金	23,006	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	35,007	30,985	40,224	30,985				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	35,007	30,985	40,224	30,985				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	35,007	30,985	40,224	30,985				
決算情報	① 流充用額	△ 7,975	0						
	② 配当予算	27,032	30,985						
	③ 執行額	24,977	23,006						
	④ 執行率	92.4%	74.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	400	400	400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	25,377	23,406	400	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(都市・交通課)	種類	財産貸付収入	実績金額	23,006	決算付属資料	32	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	基金積立残高	百万円	357 / 500	380 / 500	323 / 500	/ 500	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	定期借地契約件数	件	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	0
	単位あたりコスト		24580.0	12488.5	11503.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業の進捗に向けた財源を確保するため、事業用定期借地契約による収入を積み立てた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	事業用定期借地契約による収入について、一般財源でなく基金への積立を行うことで、効率的に積立額を増額した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	石原土地区画整理事業保留地価格改定に伴う差額分の財源とすることで、積立金を有効に活用した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業用定期借地契約による安定的な収入について、一般財源とするのではなく基金に積み立てて効率的に運用することで、石原土地区画整理事業の早期完了に向け、財源を確保することができた。		
改善策	普通財産土地売却収入が減少する見込みの中で、都市基盤整備後の各施設の経年劣化や新たな整備事業に対応できるよう、積み立てに係る不動産収入の確保に努める必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	駅周辺公共施設管理事業				事業コード	110184						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市自転車等駐車場条例 等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山駅を利用する通勤者・通学者、福知山駅周辺への買い物客、福知山駅への送迎者の利便性を向上させるとともに、不法駐輪及び不法駐車を抑止し、歩行者等の安全確保、良好な都市空間の形成を図る。											
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.5							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	有限会社京都事務機販売											
事業概要 (箇条書き)	・指定管理業務の発注 場内清掃や利用者への丁寧な対応、精算機等機器故障時の迅速なサービスの提供等、利用者の満足度向上を目指す。 放置自転車の管理や新規利用者の獲得に向けた新入生への案内文の作成など、指定管理者と市及び周辺の学校で連携を図る。 ・駅前ロータリーの道路標示の修繕や、新貨幣導入に伴う精算機部品交換等、駅周辺の公共施設維持管理を行った。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	210	駅南口広場区画線修繕ほか									
	役務費	25	建物総合損害共済保険料									
	委託料	35,638	指定管理業務									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	36,189	36,081	36,115	36,249				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	36,189	36,081	36,115	36,249					
予算財源内訳	① 一般財源	14,484	13,608	16,323	18,553				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	21,705	22,473	19,792	17,696				
決算情報	① 流充用額	△ 209	0						
	② 配当予算	35,980	36,081						
	③ 執行額	35,738	35,874						
	④ 執行率	99.3%	99.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	2,560	2,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	38,538	38,434	2,560	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	駅北口駐車場料金	種類	土木使用料	実績金額	2,860	決算付属資料	10	頁
		駅東駐輪場料金		土木使用料		12,018		10	
		駅西駐輪場料金		土木使用料		1,208		10	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実質赤字額(使用料収入額-執行額)	千円		-13026 / 0	-18579 / 0	-17353 / 0	/ 0
駐輪場稼働率	%		83 / 100	79.9 / 100	83.6 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	駐輪場使用料	千円	13935 / 22369	12038 / 22369	13226 / 22369	/ 22369	22,369
	単位あたりコスト		2.9	3.0	2.7		
	駐輪場総利用台数	台	288644 / 356970	285105 / 356970	298452 / 356970	/ 356970	356,970
単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>福知山市の玄関口である福知山駅の利用者及び駅前の商業施設等の利便性向上に必要であり、特に駐輪場については、定期利用されている通勤・通学者に対して必要不可欠となっている。</p> <p>令和3年度においては、駐輪場利用者に対してアンケート調査を実施することで、駐輪場施設内の環境整備等に役立てた。</p> <p>福知山駅周辺施設利用者からの要望に基づき修繕業務を実施し、気持ちよく施設を利用していただけるよう努めた。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>指定管理者公募時の内容及びその後の第三者評価委員会に基づき指定管理業務を発注しており、コスト削減ができています。</p> <p>民間事業者のノウハウを用いて駐輪場等の運営を行っており、効率的かつコスト削減を図りながら事業を実施できている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>駐輪場・駐車場の利用者増加のため、指定管理業務において草刈やごみ拾いの実施や、学校への定期券制度の案内を行った。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>駅ロータリー内の道路標示修繕や新貨幣への対応に伴う精算機部品交換を行うことで、駅周辺施設の利用者の満足度向上を図ることができた。</p> <p>このうち、令和3年度においてはロータリー内の道路標示の修繕に代表されるように、クレームが起ってから事後対応となることが課題となっている。</p> <p>また、令和3年度においても指定管理者により主要な学校への施設案内を行っており、定期利用者の増加につながっている一方で、駐輪場内での放置自転車の増加による環境悪化・駐輪スペースの占拠の解消が課題となる。</p>		
改善策	<p>指定管理者との連携を密にし、利用者の不満がクレームとして顕在化しないうちに対応できるようにする。</p> <p>また、放置自転車についてはその多くが学生のものであることから、周辺の学校とも連絡を取り合い、指定管理者を含めた放置自転車の引き取りに対する体制づくりを行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	街路事業(篠尾線 篠尾工区)				事業コード	120332					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人					
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	都市計画法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	篠尾線概成区間から国道9号までの区間(210m)を整備することで、通学路の安全確保のみならず、農免道路を経由した道路網を構築し、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。										
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.7						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	(株)ウエスコ京滋支店、三丹開発(株)、藤井不動産鑑定(株)										
事業概要 (箇条書き)	・都市計画道路事業用地内地権者に対して、土地売買及び建物移転補償契約を締結するとともに、移転の実現に向けて関係機関等を協議を行った。 ・次年度以降の用地買収及び建物移転補償について、該当地権者と協議を行うとともに、必要な設計業務を発注した。 ・工事着手に向け、地元自治会や関係機関と今後の方向性等について協議を行った。 ・事業用地として既に取得した用地については、近隣住民の迷惑とならないよう防草シートを設置することで維持管理を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	役員費	10	収入印紙購入費用								
	委託料	2,868	用地調査業務、防草シート設置業務、不動産鑑定意見書作成業務								
	公有財産購入費	9,239	土地購入費								
	補償、補填及び賠償金	35,434	物件移転補償費								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	58,000	88,581	86,602	25,274				
	② 補正予算	△ 55,266	△ 20,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 19,147	19,147	0				
	前年度繰越	0	0	19,147	0				
	次年度繰越	0	△ 19,147	0	0				
小計(①~③)	2,734	49,434	105,749	25,274					
予算財源内訳	① 一般財源	1,708	5,933	18,205	5,644				
	② 国支出金	626	25,101	50,444	11,330				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	400	18,400	37,100	8,300				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	2,734	49,434						
	③ 執行額	1,745	47,551						
	④ 執行率	63.8%	96.2%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,545	50,351	2,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	街路事業(篠尾線篠尾工区)(防災・安全交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	25,100	決算付属資料	20	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		都市計画道路進捗率	%	69.49 / 69.49	69.43 / 69.43	69.43 / 69.43	/ 69.43
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助対象事業費ベースによる進捗率	%	2 / 100	2 / 100	13 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		5852.9	872.5	3657.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	地元自治会からの要望により、都市計画道路篠尾線の実現に向けて事業を進めており、建物の移転を伴う土地の買収を行うことで、本事業の進捗に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	業務の発注にあたっては、競争入札により価格競争を行っており、コスト削減を図ることができた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	都市計画道路の工事着手に向けて、建物の移転を伴う土地の買収を行ったほか、事業用地の寄附を受けることで、事業進捗を図ることができた。これにより、都市計画道路の整備進捗率増加に向けて事業を進めることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度においては、事業用地内の地権者と土地売買及び建物移転補償契約を締結し、また次年度以降補償予定の土地・建物について調査等を行った。 都市計画道路の工事着手には至らないものの、事業用地の確保に向けて進めることができ、事業費ベースでの進捗を図ることができた。 令和3年度は都市計画道路本線に係る用地買収等の執行となっており、今後は取付道路も視野に入れて地元同意を得る必要がある。		
改善策	地元自治会や関係機関と協議を行い、取り付け道路を含めて地元同意を得る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	街路事業(福知山綾部線)				事業コード	120344						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費		会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	都市計画法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	都市計画道路福知山綾部線は、第2次緊急輸送道路にも指定されている防災上重要な道路であるが、土地内の一部の歩道や、石原土地区画整理事業地内より東側の興・観音寺地内が未整備であるため、京都府と連携しながら道路整備の進捗を図る。											
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 負担金支出 )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	都市計画道路福知山綾部線の整備に向けて、市実施区間(興工区)と京都府実施区間(土工区)それぞれについて必要経費を支出する。 ・土工区道路整備(京都府実施)にかかる市町村負担金の支出 ・都市計画道路沿線自治会や関係機関との協議の実施(随時)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	2,700	令和3年度京都府施行都市計画事業に係る市町村負担金									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	22,837	30,962	44,055				
	② 補正予算	0	△ 4,050	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 16,000	16,000	0				
	前年度繰越	0	0	16,000	0				
	次年度繰越	0	△ 16,000	0	0				
小計(①～③)	0	2,787	46,962	44,055					
予算財源内訳	① 一般財源	0	387	20,112	6,605				
	② 国支出金	0	0	13,750	18,150				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	2,400	13,100	19,300				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	2,787						
	③ 執行額	0	2,700						
	④ 執行率	0.0%	96.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	2,400	2,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	5,100	2,400	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	都市計画道路進捗率	%	0 / 0	0 / 0	69.43 / 70.34	/ 70.34	70.34
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助対象事業費ベースによる進捗率	%	0 / 0	0 / 0	0 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	都市計画道路沿線自治会より、本都市計画道路の整備を頻繁に要望されていることから、周辺住民の関心は高く、この実現に向けて関係機関等との打合せを重ねることで、事業の進捗に努めることができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	令和3年度執行額においては、地方財政法施行令等に基づき、必要な額に対して必要な割合で負担している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	現状の既存道路において、歩道未整備区間や幅員狭小区間があり、歩行者の安全確保が求められていることから、通学路の安全確保を行うことにより課題を解消することができる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	関係自治会や京都府等と協議を重ねることで、都市計画道路の整備に向けて進捗を図った。今後は、地元自治会に対して都市計画道路整備後の排水経路といったより詳細な計画を提示し、地元合意を得ていく必要がある。		
改善策	概略設計業務に加えて道路詳細設計業務により排水経路を含めた詳細な計画図を作成し、関係自治会や京都府等と協議を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	都市計画事業用地管理事業				事業コード	510116						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費		会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	都市計画事業用地として、将来の都市計画道路用地等として活用するために維持管理を行う。											
対象者	管理地内の自治会(興、土師町、長田北、南本堀)			対象者数	1,205		単位あたりコスト	1.4				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、福知山地方森林組合、創生建設株式会社											
事業概要 (箇条書き)	都市計画事業用地の草刈や修繕、貸付を行う。 ・都市計画事業用地の除草等維持管理業務の実施											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	547		除草業務、防草シート設置業務								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	338	642	1,432	1,418				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	338	642	1,432	1,418					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	753	739				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	338	642	679	679				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	338	642						
	③ 執行額	300	547						
	④ 執行率	88.8%	85.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,200	1,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,500	1,747	1,200	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	街路事業用地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	547	決算付属資料	32	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	貸付面積	m <sup>2</sup>	2066.45 / 2066.45	2066.45 / 2066.5	619.38 / 619.38	619.38 / 619.38	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	除草面積	m <sup>2</sup>	3346 / 0	6555 / 6555	6891 / 8903	8903 / 8903	0
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	地元農区や隣接地権者からの要望をもとに、除草業務等の土地の維持管理に必要な業務を実施することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	委託業務の発注においては価格競争をおこなっており、コストの削減に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	事業化の見込が少ない都市計画事業用地について、申出のあった土地については貸付を行った。除草面積については、当該土地の周辺状況等や雑草の繁茂状況に鑑みて除草を行ったため、当初見込みに対して除草面積が減少した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	都市計画事業用地の貸付により、除草にかかる費用負担の軽減に努めることができた。除草対象土地の繁茂状況に基づいて適切に除草時期を調整したほか、除草面積についても都度検討しながら、支出金額の抑制に努めた。都市計画事業用地(公社継承土地等)は、事業化もしくは路線が廃止されない限り売却等の処分ができない性質があるため、維持管理のコストが発生する。		
改善策	事業化の優先度が低い都市計画事業用地については普通財産とし、申し出があった箇所については積極的に貸付を行うことで維持管理費用を捻出する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	用地一般管理事業				事業コード	120205	
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備	
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921
事業担当	所属	35070000 建設交通部 用地課			所属長	貴田 直子	
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	182		頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・道路事業をはじめとする公共事業の促進を図るため、用地買収事務や物件補償事務を適正に執行し、道路等の適切な維持管理を図る。						
対象者	用地買収等対象土地所有者	対象者数	6	単位あたりコスト	3,278.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他						
委託先・実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	・用地買収や物件補償等を適切に執行するための事務経費						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	旅費	2	用地対策連絡協議会研修会参加等				
	需用費	532	事務用品購入・書籍購入・追録図書費用				
	役務費	155	郵送料				
	負担金補助及び交付金	8	京都府用地対策連絡協議会分担金				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	972	930	921	915				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	972	930	921	915					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	972	930	921	915				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	972	930						
	③ 執行額	709	697						
	④ 執行率	72.9%	74.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.55 / 2.18	1.70 / 2.15	1.70 / 2.15	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	17,850	18,975	18,975	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,559	19,672	18,975	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国道9号用地事務費	種類	土木費国庫委託金	実績金額	697	決算付属資料	22	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	必要面積の取得率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	用地契約筆数	筆	46 / 46	33 / 33	6 / 6	/ 20	
	単位あたりコスト		20.1	21.5	116.2		
	用地取得面積	m <sup>2</sup>	26,814.78 / 26,814.78	10,771.14 / 10,771.14	133.76 / 133.76	/ 3,000	
単位あたりコスト			0.1	5.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改良事業や河川整備事業等の事業実施に伴い、用地整理(所有権調査・境界立会・用地交渉・分筆・所有権移転登記等)を行う必要があるが、これらの事務を速やかに処理すべく、研修参加や事務用品等の購入を行っている。</li> <li>所有者を市とする用地取得や登記事務等であり、個人の財産状況に関することであるとともに、福知山市が権利者であることから市自らにおいて行うことが必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して用地対策連絡協議会との連携及び研修への参加等を行っている。</li> <li>用地対策連絡協議会との連携により周辺自治体と情報共有するとともに、課題について効率的な対応が可能となる。</li> <li>市自ら事務を行う必要がある以上、研修参加等により事務担当者の知識・経験を高めることが効率的である。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標については、事業計画により設定される用地範囲に対する割合として設定している。用地取得率は事業規模及び権利者数等に左右されるが、各年度の成果目標として適切である。</li> <li>年度毎の目標は概ね見込みに沿ったものである。必要な用地取得の結果、ハード事業が計画どおりに実施され、社会インフラの整備に寄与した。</li> <li>用地事務に関しては、費用対効果や事務効率の観点から、直接事務執行を行う。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地対象者について、計画どおり契約でき、ハード事業の進捗を図ることができた。</li> <li>用地買収については、事業の必要性を十分理解し、用地買収対象地等を適正に評価した上で交渉を行っていくもので、特に専門性や説明能力等が求められるものである。事業の成否は用地買収に左右されるという点からも、個別の事業における必要な成果は達成できた。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地買収に係る交渉及び契約については専門的な知識が必要で、継続して担当できる職員の配置が重要であるとともに、人材育成のため、研修等に積極的に参加していく必要がある。</li> <li>用地買収事務については、関係機関及び関係課と連携し、計画的に執行していく。</li> </ul>		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	未登記用地測量事業				事業コード	120306					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35070000 建設交通部 用地課			所属長	貴田 直子					
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186・188	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	道路改良事業・地籍調査事業等										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・権利上の道路等の適切な維持管理を確保すべく、市道内に未登記用地(個人名義の登記等)の存在が確認された場合に、その権原を取得するものである。										
対象者	未登記用地であることが確認された土地の所有者				対象者数	1		単位あたりコスト	4,493.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会										
事業概要 (箇条書き)	・市道境界確定や地籍調査等の際に確認された市道内の未登記用地について、分筆登記及び寄附による所有権移転を行う。 ・その際に分筆登記手続に必要な測量等及び登記手続に必要な作業について業務委託を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	役員費	11	市道と久寺4号線内の底地に付された抵当権抹消に係る事務取扱手数料								
	委託料	272	公共嘱託登記土地家屋調査士協会業務委託戸田川北線道路内民地整理に伴う分筆等 ※単価契約								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	500	500	500	500					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	500	500	500	500						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	500	500	500	500					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	500	500							
	③ 執行額	486	283							
	④ 執行率	97.2%	56.6%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16 / 0.70	0.37 / 0.50	0.37 / 0.50	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	3,030	4,210	4,210	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,516	4,493	4,210	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	法定外公共物占用料(里道・水路)		種類	財産貸付収入	実績金額	283	決算付属資料	32	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	寄附を受けた土地の面積	㎡	1,467.23 / -	3,611.19 / -	1,738.63 / -	/ -	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	寄附申出による登記筆数	筆	23 / -	23 / -	24 / -	/ -	
	単位あたりコスト		13.5	18.7	11.8		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道内にある個人所有地を整理することにより、所有者が権原を取得し、適切な管理につなげている。</li> <li>地積測量図の作成は民間事業者に依頼することもあるが、その権原の取得に際しての事情説明等については、道路管理者かつ将来的な所有者である市において行うことが必要。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道内未登記用地の整理を行う際、分筆依頼を必要とする場合がある。その際には専門家である土地家屋調査士への業務委託を行うが、相応の費用が必要。</li> <li>コスト削減や効率化については、案件ごとの事情及び用地整理の必要性等を勘案の上、優先順位を検討するなど、コスト低減を図っている。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標については、申出に対するものであることから実測値とすることが妥当である。</li> <li>未登記用地が解消され、権原を取得することで市民満足度の向上とともに、市道改良をはじめとする事業の進捗にも影響する。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の境界確定や地籍調査において未登記用地が確認される場合のほか、所有者からの申告による場合があるが、いずれの場合においても市道内に存在する個人等名義地については、その権原の取得を要する。</li> <li>現状、寄附申出のあった土地については、分筆等も含めて概ね適正かつ速やかに対応できている。</li> <li>課題としては、現時点において未登記用地の全数が把握しきれないことが挙げられる。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、境界確定及び地籍調査事業を通じて明らかになるものについて、その都度検討を行い、所有者に説明の上、権原の取得に努める。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地籍調査事業				事業コード	510121						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921					
事業担当	所属	35070000 建設交通部 用地課			所属長	貴田直子						
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第7次国土調査事業10箇年計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	国土調査法・地籍調査作業規程準則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	土地に関する基本情報(所在、地番、地目、所有者、境界、面積など)を1筆ごとに調査し、その結果を記録することにより、土地取引や公共用地の取得を円滑に進めるとともに土地利用の促進に寄与する。											
対象者	調査地区内の土地所有者				対象者数	2,500		単位あたりコスト	35.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	(株)京都インクス福知山営業所、(株)サンワコン京都支店、(株)シードコンサルタント福知山支店、(株)上智京都支店											
事業概要 (箇条書き)	・旧福知山町周辺1地区：成果の登記 ・旧福知山町周辺2地区：閲覧資料等整理他 ・旧福知山町周辺3地区：一筆地調査(現地立会) ・上豊1地区：一筆地測量、地籍図・地籍簿案の作成他 ・有仁1地区：地籍図・地籍簿案の作成他 ・有仁2地区：一筆地測量他											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	27,376	地積図根三角測量ほか業務		2線3 14,638千円							
	報酬	2,304	権利調査等に係る臨時職員賃金									
	需用費	1,293	事務用品購入費		2線3 374千円							
	役務費	881	郵送料		2線3 629千円							
使用料及び賃借料ほか	1,342	地籍調査システム賃借料 公用車賃借料ほか										

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	39,839	24,675	32,702	22,076				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	30,751	11,349	4,300	0				
	前年度繰越	46,400	15,649	4,300	0				
	次年度繰越	△ 15,649	△ 4,300	0	0				
小計(①～③)	70,590	36,024	37,002	22,076					
予算財源内訳	① 一般財源	19,605	12,347	21,199	12,598				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	50,964	23,589	15,705	9,375				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	21	88	98	103				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	70,590	36,024						
	③ 執行額	68,568	33,196						
	④ 執行率	97.1%	92.1%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	5.33 / 1.36	5.58 / 4.50	5.58 / 4.50	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	46,040	55,890	55,890	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	114,608	89,086	55,890	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国土調査費補助金	種類	土木費府補助金	実績金額	11,598	決算付属資料	28	頁
		国土調査費補助金(繰越分)		土木費府補助金		11,671		28	
		地籍調査成果証明手数料		土木手数料		21		14	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地籍調査事業成果法務局送付面積比率	%	0.34 / 100	0.37 / 100	0.41 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地籍調査事業着手面積(累計)	km2	8.07 / 496.4	8.14 / 496.4	8.14 / 496.4	/ 496.4	496.4
	単位あたりコスト		7839.1	8423.6	4078.1		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の完了に伴い現地復元性のある地図が法務局に備え付けられ、土地取引・公共用地取得が容易になるなど、事業の必要性は高い。</li> <li>国土強靱化の観点からも、災害に備えるため、速やかな災害復旧に不可欠な道路や河川等との官民境界をはじめとする境界復元が可能な図面を作成している。</li> <li>地籍調査成果の証明等の事務も行っており、令和3年度においては73件の申請があり、その成果証明書の活用により市民(土地所有者)の財産管理や売買等の土地の取引の活性化に寄与した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業のうち、1/2が国庫補助、1/4が府補助、残り1/4の市費も80%が特別交付税の対象となり、実質市負担は5%で非常に有利な事業である。</li> <li>事業実施においては、地籍調査作業規程準則や積算基準書に基づき設計積算し、指名競争入札等により公平性を確保した業務委託を行っている。</li> <li>相続人等の権利調査については、課に配置された司法書士経験のある職員の指導のもと、業務委託せずに担当職員が事務を行うことで迅速かつ効率的な事務を図っている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標については、地籍調査事業により、法務局に成果を送付した面積比率としている。</li> <li>令和3年度の実績は前年度0.37%に対し0.41%と微増であるが、調査対象面積を未実施地区を中心とした市域面積の約9割としていることが理由であり、適切に把握・測定している。</li> <li>令和3年度は、旧福知山町周辺1地区(字天田・0.22km<sup>2</sup>=22ha)の調査の成果を法務局に送付し、登記が完了したことにより、令和4年度の固定資産税等の課税対象面積や地目に反映され、課税の適正化が図れた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>順次新規地区に取り組み、適切に事業を進めている。</li> <li>調査成果を法務局に登記し、現地復元性のある地図を備え付けることにより、土地の利活用の促進に寄与している。</li> <li>本事業は、最初に法務局の登記資料の調査を行い、相続人調査をはじめとする所有者の特定、境界立会い、不調の場合の再調整の後、測量、数値のデータ化等の各作業工程の積み上げにより成り立っている。</li> <li>このような事業の特性や、できるだけ筆界未定地を減らせるように不調者対応を丁寧に行っており、そのために現状では、1調査地区あたり5年以上の期間を要し、事業が長期に渡っている。</li> <li>課題としては、地権者の土地に関する関心が低かったり、市外在住地権者の土地が多く存在する等の地区については、連絡調整等に時間を要し、調査期間が長期化する傾向にあることがあげられる。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の地籍調査の迅速化に向けては、調査地区面積の適正化や、委託工程の見直しのほか、国土調査法の改正により可能となった、遠方居住の方の図面や写真等による調査確認手法の積極的な活用や効率的な測量手法について、他市の先進的事例も参考にすることで、より効率的な事業推進を検討していく。</li> <li>但し、筆界未定地の発生をできるだけ少なくするため、不調者等の対応はこれまで通り丁寧に行う。</li> <li>また、令和2年度策定の国の10箇年計画に基づき、「優先度の高い地区」から実施することとし、本市においては、より経済効果の見込める地区を選定しつつ、効率的な進め方を検討していくこととする。一方、財源については、引き続き、近畿ブロック国土調査推進連絡協議会や京都府国土調査推進連絡協議会と連携し補助金の確保に努めていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	法定外公共物管理事業				事業コード	510123					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35070000 建設交通部 用地課			所属長	貴田直子					
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市法定外公共物管理条例・同施行規則・福知山市法定外公共物の財産管理に関する処理要領・福知山市法定外公共物等改修助成金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	法定外公共物(里道・水路)の占用許可・用途廃止及び売払い等の事務執行を行い、適正な財産管理をすることにより、自治会等の地元に密接した法定外公共物(里道・水路)の適切な維持管理及び有効活用を図る。										
対象者	市民			対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店										
事業概要 (箇条書き)	・法定外公共物(里道・水路)の占用許可 ・法定外公共物(里道・水路)の用途廃止及び売払い等 ・法定外公共物(里道・水路)の改修助成及び緊急修繕等										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	429	法定外公共物管理システム保守業務								
	負担金補助及び交付金	1,443	法定外公共物等の改修工事に対する自治会への助成								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,584	2,554	3,907	3,734				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	2,584	2,554	3,907	3,734					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,584	2,554	3,907	3,734				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	2,584	2,554						
	③ 執行額	2,088	1,872						
	④ 執行率	80.8%	73.3%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.10 / 0.85	1.77 / 0.95	1.77 / 0.95	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	18,925	16,535	16,535	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,013	18,407	16,535	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	法定外公共物占用料(里道・水路)	種類	財産貸付収入	実績金額	429	決算付属資料	32	頁
		法定外公共物管理事業基金繰入		基金繰入金		1,443		40	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	売払面積	m2	1,175.59 / -	1,043.75 / -	1,362.01 / -	/ -	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	占用申請に対する許可件数	件	80 / -	73 / -	65 / -	/ -	
	単位あたりコスト		20.1	28.6	28.8		
	売払件数	件	9 / 9	20 / 20	13 / 13	/ 10	
単位あたりコスト		178.2	104.4	144.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定外システムの利用により法定外公共物(里道・水路)の所在位置や境界確定情報の管理を行っている。これにより、占用許可・用途廃止及び売払い等の財産管理・処分や自治会が行う改修工事等に要する費用の一部の助成など、市民のニーズをふまえたものである。</li> <li>法定外公共物(里道・水路)の所有権は市であり、財産管理や処分行為に関する意思決定は市で行うべきである。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態を有しない若しくは必要のなくなった法定外公共物について、用途廃止及び売払いを進めることで、効率的な維持管理が可能となる。</li> <li>これらの事業は、法定外公共物占用許可に伴う占用料収入及び法定外公共物売払収入の積立先である公共施設等総合管理基金からの繰入金により、全て賄われており、本事業による収支としてはプラスである。(令和3年度: 占用料収入: 約275万円・売払収入: 約820万円)</li> <li>法定外管理システムにより、効率的な管理がなされているとともに、処分等の際も申請者側において書類作成を整えていただくことにより、事務処理の軽減に努めている。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定外公共物の占用申請に対する許可件数、売払件数及び売払面積を成果目標としている。</li> <li>収入的観点の把握により、費用対効果の測定が可能となるとともに、占用許可及び売払い等の実施により、財源を確保でき、継続的な法定外公共物の適正な管理に繋がるなどの効用が得られる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定外公共物の適正な管理に資するべく、占用許可及び売払い等を適切に実施できている。</li> <li>実態を有しない若しくは必要のなくなった法定外公共物について、用途廃止及び売払いを進めることで、効率的な維持管理が可能となる。</li> <li>法定外公共物の改修助成については、適正な維持管理に資するべく、平成30年6月に助成制度に関する要綱改正を行い助成対象を拡大した。これにより地元要望に対して、より効果的な対応が可能となった。</li> <li>課題としては、法定外公共物の日常的な維持管理については地元で対応いただいているが、災害時など緊急的な対応を行う際の修繕料の確保が必要である。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時など緊急性を要する場合には、予算確保に努めていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--